

# 令和3年度 薩摩川内市民まちづくり公社事業報告書

本公社は、これまで設立目的に沿った運営を行い、薩摩川内市と連携して芸術・文化・スポーツ等の振興を図るとともに、文化施設、社会体育施設、公園等の管理・運営事業を通して、市民の皆様の生涯学習の推進と福祉の向上に努めて参りました。

特に、管理受託施設については、令和3年度においても依然として新型コロナウイルス感染症が収束していないことから、感染防止対策を徹底し、市民の皆様に安全・安心・快適なサービスの提供に努めたところです。

一方、令和3年度から再び、指定管理受託施設に係る人件費が運営補助金として交付されることとなり、当該人件費について精算が必要となったことから、一層の効率的な公社運営を行いました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用により、管理受託施設の利用制限及び生涯学習等の諸事業の縮小や延期、中止を余儀なくされましたが、市民の皆様のニーズに応えられるよう事業を実施しました。令和3年度に実施した事業の概要は、次のとおりです。

## I 公益目的事業

### 1 受託施設管理事業

令和3年度の受託施設管理事業については、指定管理者制度等に基づき、薩摩川内市から管理受託する文化施設、社会体育施設等の公共施設の管理運営を実施しました。

特に、入来文化ホール、川内歴史資料館、川内まごころ文学館、せんだい宇宙館、サンアリーナせんだい等の集客施設においては、新型コロナウイルス感染防止対策を行い、安心して利用していただけるよう取り組むとともに、施設の安全点検、消防・防災訓練を実施し、緊急時の利用者の安全誘導等に心掛けました。

公園等の施設管理については、安全で快適な利用ができるよう、日常的に設備や遊具の点検を実施するとともに、施設の維持・修繕、清掃、花壇の管理、樹木剪定、芝刈り等を効率的に実施しました。なお、抜本的な改修等が必要な管理施設については、市の主管課に報告・協議を行い、必要な対応を行いました。

また、各施設において利用者満足度調査等を実施し、利用者の意見等を踏まえながら、よりよい施設の管理運営に努めました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、年間を通じて施設利用に影響がある中、受託施設で実施した主な管理事業及び利用状況は、次のとおりです。なお、管理受託施設の管理運営のための直接経費として、451,090,581円を支出しました。

#### (1) 薩摩川内市入来文化ホール

本年度の利用件数は477件、利用者数は19,781人であり、それぞれ前年比71.0%、148.3%の増と、前年度を大幅に上回りました。この増加の主

なものは、同ホールが新型コロナウイルスのワクチン接種会場として利用されたことによるものであり、別館の会議室利用は、回復傾向にあるものの、大人数での利用の多いホールの利用は、前年度から更に減少しました。

## (2) 薩摩川内市川内歴史資料館

前年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大により、予定していた事業の中止や開催時期、内容の変更に加え、子どもたちの入館が見込まれる夏季において緊急事態宣言に伴う臨時休館を余儀なくされたこと等から、歴史資料館の事業や入館状況に大きな影響を受けました。

そのような中で、感染症対策を講じたうえで、トピック展示「お金の歴史」、終戦記念展示「戦争への想い～兵隊と残された人たち～」、企画展「道具から見る昔の暮らし」など、市民の多くの世代の興味、関心に応える展示を実施したほか、歴史講座や工作教室、出前講座などを実施しました。

このように、年間を通して多くの事業を展開しましたが、歴史資料館の入館者数は4,845人となり、前年比3.8%の減となりました。

また、薩摩国分寺跡史跡公園、横岡古墳公園については、園内巡回や樹木剪定、除草を適切に行い、施設等の美化に努めました。

## (3) 薩摩川内市川内まごころ文学館

歴史資料館と同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していた事業の中止や開催時期、内容の変更のほか、緊急事態宣言等に伴う臨時休館措置など、文学館の事業や入館状況に大きな影響を受けました。

そのような中で、感染症対策を講じたうえで、本市に縁の芸術家を紹介する特別企画展「郷土を彩る芸術家たち」、関東大震災を特集した「改造」、「女性改造」の展示による文学と災害を関連付けたトピック展示、有島武と子どもたちに着目した里見淳生誕生記念展示「有島家の子どもたち」などを開催しました。また、例年好評のまごころ文芸講座、名作シネマ上映会、まごころ児童絵画展などを実施しました。

各種事業の変更・中止があったものの、展示に関連したワークショップの実施やおはなし会の開催により、入館者数は5,824人となり、前年比5.7%の増となりました。

## (4) 薩摩川内市寺山いこいの広場

施設内の設備や遊具などの安全管理に努めるとともに、シルバー人材センターを活用しながら、花壇の管理や公園内の草刈等を実施し、利用者に親しまれる公園づくりに努めました。また、寺山レストランやゴーカートとの連携を図り集客に努めました。

この結果、寺山いこいの広場の利用者数は135,388人で、前年比0.7%の微増となりました。

#### (5) 薩摩川内市せんだい宇宙館

企画展「ザ・ムーン展」の開催のほか、寺山こどもの日フェスタや寺山秋まつりなどのメインイベント、各種観望会、工作教室を実施したものの、新型コロナウイルス感染拡大による閉館措置や人数制限、天候不良による観望会の中止等により、入館者数は前年比11.1%減の8,024人となりました。

#### (6) 各種公園、緑地等の管理

各種公園、緑地等については、設備、遊具、樹木、芝、雑草の状態等の点検を日常的に実施し、受託施設の維持・補修を実施しました。

また、施設内の大木等については、専門業者に委託して剪定を行ったほか、継続的に管理が必要な施設については、シルバー人材センターに業務委託して管理を行いました。

#### (7) 体育施設の管理

体育施設のうち、サンアリーナせんだいの利用者数は117,077人で、令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う大会自粛等が影響し、前年比7.3%の減となりました。なお、総合運動公園全体においても、利用者数が205,240人となり、コロナ前の約40万人の利用者数には遠く及ばない結果となりました。

また、御陵下公園施設及び屋外運動場照明施設においても、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う大会自粛等により、利用者数は前年から18.9%減少し、43,583人となりました。

#### (8) 薩摩川内市立中央図書館の運営

薩摩川内市立中央図書館の平日・土曜・休日の運営、貸出、返本受付のほか、移動図書館バスの運行、おはなし会や映画会、教養講座などを実施し、集客に努めました。

令和3年度の図書館利用者数は、平日昼間が23,667人、土曜・休日が19,848人、夜間が9,976人、合計で53,491人となり、新型コロナウイルス感染拡大に伴う閉館措置により、開館日数が前年度より51日少なかったことから、前年比20.3%の減となりました。

## 2 芸術・文化・スポーツ振興事業

令和3年度は、芸術文化振興事業として「吉俣 良サウンドトラックコンサート」をSSプラザせんだい多目的ホールで開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の延長により、当初開催日から延期しての開催となりましたが、多くの方（販売枚数661枚）に鑑賞いただきました。

なお、川内文化ホールが閉館したことから、初めてSSプラザせんだい多目的ホールを利用することとなりましたが、会場への誘導等、主催者として改善すべき点

があったことから、今後に活かして参ります。

この芸術文化振興事業は、市からの補助金（交付額 4,000,000 円）を受けて実施しましたが、4,974,004 円の事業経費に対し、入場料収益が 1,346,500 円であったことから、市からの補助額は 3,627,504 円となり、372,496 円を精算返納しました。

### 3 いきいき生涯学習事業

各管理施設等において、創作体験として「粘土で出来るキーリング」、「フラワーアレンジメント教室」、「多肉植物の寄せ植え教室」などを、工作教室として「布ぞうり作り」、「ふろしきの包み方と刺し子体験」などを実施しました。

また、サンアリーナせんだいにおいて、スポーツ振興を目的とした「まちづくり公社杯ソフトバレーボール大会」を開催し、コロナ禍でありましたが、20 団体、109 人の参加がありました。

なお、入来文化ホールで開催予定であった「声と音を楽しむ」は、まん延防止等重点措置の適用期間中であったため、中止しました。

以上、いきいき生涯学習関連の自主事業経費は、319,578 円となりました。

### 4 花と緑のまちづくり事業

総合運動公園わんぱく広場の落葉拾い、泰平寺公園の花壇やプランターへの花苗の植栽、管理を実施していただいたボランティア団体の活動を支援し、環境美化に努めました。

### 5 キラキラ寺山事業

これまで同様、寺山の各施設が連携し、寺山いこいの広場全体の利用拡大に努め、特に、せんだい宇宙館では、宇宙・天体に興味を持ってもらうため、各惑星の観望月間を設定した市民星空観望会のほか、ペルセウス座等の流星群や部分月食の観望会、ウィークエンド工作や夏休み科学工作等を、キラキラ寺山事業として実施しました。

また、市教育委員会及び少年自然の家事業とも連携協力し、市内の小学校に出向いて出張観望会を実施しました。

### 6 サービス事業

受託施設への公衆電話の設置や各管理施設でのコピーサービスなど施設利用者の利便を図りました。

### 7 広報宣伝事業

公社の自主事業や管理施設での行事予定、事業結果等について、公社広報誌「アクスタイム」、南日本新聞折り込みチラシ「南日本家庭メモ」の裏面活用による「アクスタイム情報」、公社ホームページ、SNS 等による広報宣伝を実施しました。

また、薩摩川内市の広報紙「広報薩摩川内」、新聞、FM さつませんだい、各種情報誌を活用し、情報発信に努めました。

## 8 まちづくり交流事業

川内文化ホールの閉館に伴い、「まちづくり交流センター」を廃止したことから、令和3年度は本事業を休止しました。

なお、薩摩川内市において、同センターと同様の機能を有する施設を設置されたことから、令和4年度において本事業の廃止の手続きを進めます。

## II 収益事業

### 販売事業

施設利用者等の利便を図るため、サンアリーナせんだい売店の経営のほか、せんだい宇宙館でのグッズ販売、管理施設への清涼飲料水等の自動販売機の設置、運営を行い、その収益については公益目的事業を実施するための財源として活用しました。

自動販売機の設置管理事業・売店事業では、8,225,546円の収益に対して経費が6,991,375円であり、1,234,171円の黒字となりました。

## III 事務局

### 事務局の管理運営

事務局の運営については、薩摩川内市東郷支所内の事務所を拠点に、本公社の設立目的に沿って公益目的事業等の事業活動を円滑に実施するため、的確な事務執行を行いました。

## 終わりに

本公社では、これまで生涯学習・芸術文化・スポーツ振興等に係る公益目的事業を推進するため、薩摩川内市と連携しながら、市民の皆様に生涯学習の機会や質の高い芸術文化・スポーツに触れる機会を提供するとともに、施設の利活用の促進に取り組んで参りました。

今後におきましても、職員一人ひとりが市民の皆様のニーズを積極的に把握しつつ、「安全・安心・快適」なサービスを提供し、市民の皆様に喜ばれる事業を実施するなど、更なる市民福祉の向上に寄与できるよう努めて参ります。